

主催 株式会社サステナビリティ会計事務所
サスティビー・コミュニケーションズ株式会社

日時 2011年12月8日(木) 13:00開場 13:30開会

募集人数 40名
※応募多数の場合は先着順締切もしくは複数日開催等の調整をさせていただきます。

会場 アルカディア市ヶ谷 7F「白根」
東京都千代田区九段北4-2-25
TEL:03-3261-9921

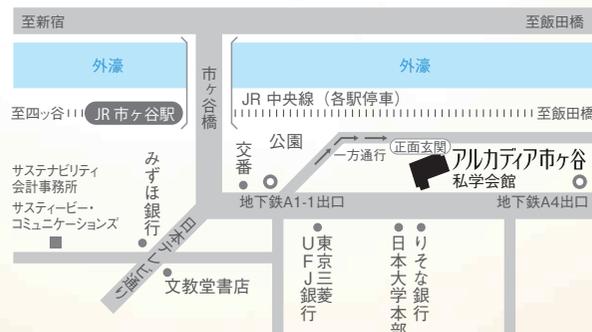
参加費 10,000円/人(消費税込)
※弊社からご案内する銀行口座へのお振込をお願いいたします。

留意事項 筆記具・電卓をご持参ください。
※同業者の申し込みはご遠慮ください。

● 申込期間：2011年11月18日(金)まで
申し込みは弊社HPの申し込みフォームよりお願い申し上げます。

<http://www.sustb.com/seminar/>

FAXでの申し込みも可能です。同封の用紙にご記入の上、
ご送信をお願いいたします。FAX 03-3288-5536



JR・地下鉄(有楽町線・新宿線・南北線)市ヶ谷駅 徒歩2分

SUSA
Sustainability Accounting Co., Ltd.
株式会社サステナビリティ会計事務所
〒102-0076 東京都千代田区五番町2-24-2F
TEL:03-3288-5538 FAX:03-3288-5536

CSR・サステナビリティ関連の
各種アドバイザーと保証業務を
展開しています。

SusTB
communications
サスティビー・コミュニケーションズ株式会社
〒102-0076 東京都千代田区五番町2-24-2F
TEL:03-3288-5535 FAX:03-3288-5536

CSRレポート制作を中心にCSR
取り組みとコミュニケーションに
高品質価値を提供しています。

新たなサポート「CSR特講」にご参加ください。

あまりにも多くの情報に埋もれて、実際のCSR取り組みやレポート制作において漂流してしまっている… そんな思いに囚われてしまう時はありませんか？ レポートの内容と実際の計画・取り組みの間をつなぎ、PDCAの一環としてレポート機能を活かすには、包括的に関連業務を捉える必要があります。

サスティビー・コミュニケーションズは、コンサルタントとして蓄積した経験を活かしてレポートから期中の取り組みまで一貫したサポートを行っています。2012年は今後のレポートを考えるうえで重要なターニングポイントになると考え、セミナーを開催することにいたしました。

上智大学経済学部教授 上妻先生による基調講演では、国内外の動向を見据えて、さらに望ましいレポートの方向性について、そのポイントをお話しいただきます。さらに、理想と現実のはざままで悩んでいらっしゃるご担当者に向けて、机上での情報伝達にとどまらない、体験型のレポート制作シミュレーションを行うことで、具体的にどう取り組めばよいかを明らかにします。



株式会社サステナビリティ会計事務所
サスティビー・コミュニケーションズ株式会社
代表取締役 **福島 隆史**

公認会計士。大手監査法人にて1996年より環境経営、2002年よりCSR全般のコンサルティングや審査業務を行う。2006年に独立。大手グローバル企業を中心に、より柔軟なCSR取り組みやレポートの具体的なサポートを提供している。

Guest Speaker

上妻 義直 Yoshinao Kozuma
上智大学経済学部教授



環境会計論および国際会計論を専門に国内外の環境・CSR動向を踏まえた研究、教育・指導を行っている第一人者。現在公開に向け準備が進められている環境省「環境報告ガイドライン等改訂に関する検討委員会の委員長をはじめ、多くの公的な役職も務め、国内のCSR向上に寄与。

「CO₂を見える化するカーボンラベル」(中央経済社2011年3月)など著書多数。

CSR特講

Sustainability Accounting Co., Ltd. / SusTB communications Co., Ltd.

CSR SEMINAR 2011.12.8

何を報告すべきか？ どうしたらそれができるか？
多様な背景を踏まえた**体験型ワークショップ**で、
課題解決のヒントを見つけます。

「多様化するレポーティング状況に対応するために」

「何が求められているかが理解できない。」「どのように取り組むか?」「どのように報告するか?」CSR取り組みと報告にかかわる実務担当者の多くが抱えるこういった課題は、知識だけでは解決できないものです。しっかりとした理解と具体的な試行が必要と考え、今回のプログラムをご用意しました。レポーティングにかかわる実務的な課題や最新動向への対応など、ゲーム形式で体験するワークショップに参加していただくことで、楽しみながら実務をシミュレーションします。その後、ワークショップを通じた疑問や課題について、総括として両講師とのフリーディスカッションの時間を設定。さらにご提出いただいた最優秀レポート構成案については、後日サムネイルデザインをサスティビー・コミュニケーションズ(株)からご提供します。

福島 隆史
Takashi Fukushima

PROGRAM 開場 13:00 開会 13:30

13:30 主催者あいさつ

基調講演:「サステナビリティレポーティングに関わる最新動向」 上智大学経済学部教授 上妻 義直

13:40 企業評価においてサステナビリティ情報がますます重要視される中、国内での環境報告ガイドラインの改訂やIIRC、ISO26000、GRI、グローバルコンパクト、CDP、OECDなど関連する海外の情報、動向を踏まえ、企業が留意すべきポイントなどをお話しできます。

講演:「企業支援者から見たCSR取り組みとレポーティング」

(株)サステナビリティ会計事務所/サスティビー・コミュニケーションズ(株)

14:45 ワークショップ:「最新動向に対応したレポーティングの実践」

代表取締役 福島 隆史 コンサルタント 堀江 美保 環境報告ガイドライン等改訂に関する検討委員会 環境報告ワーキンググループ 委員

様々な動向をどのように考えたらよいのか? まず取り入れるべきも
レポーティングに至る過程を体験していただくことで、具体的な取

り組みを明確化していきます。
のは何か? レポーティングの前提になる活動は?

17:00 ワークショップ総括と質疑応答

上智大学経済学部教授 上妻 義直 / 福島 隆史

17:30 閉会

実践

日本企業が大切に培ってきた誠実。
今、グローバルデファクトとの融合が求められています。
その道筋を具体的に提供します。

理論

実務の成熟に期待しつつも
悪貨が良貨を駆逐することには懸念を感じる。
日々良貨を探求し続けています。



上妻 義直
Yoshinao Kozuma

※印は必須項目です。

フリガナ 会社名*	
所属・役職*	所属・役職*
フリガナ お名前*	フリガナ お名前*
郵便番号 ご住所	郵便番号 ご住所
電話番号*	電話番号*
メールアドレス*	メールアドレス*
ご紹介者	ご紹介者

ご質問・ご意見・ご要望

お問合せ先

サスティビー・コミュニケーションズ株式会社
〒102-0076 東京都千代田区五番町2-24-2F
TEL:03-3288-5535 FAX:03-3288-5536
info@sustb.com
セミナー担当

送信先
FAX 03-3288-5536

個人情報利用目的

(株)サステナビリティ会計事務所およびサスティビー・コミュニケーションズ(株)は、本セミナーの申し込みによってお知らせいただいた個人情報、セミナー運営のために利用させていただきます。また、弊社からの各種ご案内・ご提案のために利用させていただくことがあります。

サスティビー・コミュニケーションズ株式会社
経営理念

ひとりではみんなのため、
いつもかかわりを大切に、
CSR 取り組みとコミュニケーションに
高品質価値を提供、
ゆたかでサスティビーな
社会づくりに貢献する。

※サスティビー=Sustainable サステナブル 持続可能な
サスティビー・コミュニケーションズ(株)設立にあたり、
サステナブルが日本人にとって発音しにくい単語であることから独自開発した造語

申し込みは弊社HPのセミナー申し込みフォームから受け付けて
いますが、FAXによるお申し込みをご希望の方は、この用紙を
ご利用ください。

申込期間 | 2011年11月18日(金)まで

申込方法 | **FAX** 左記にご記入の上ご送信ください

WEB <http://www.sustb.com/seminar/>

CSR特講

Sustainability Accounting Co., Ltd. / SusTB communications Co., Ltd.

CSR SEMINAR 2011.12.8